

## 大会時・コロナ禍での取組

- ・2020TDM推進プロジェクトに参加
- ・2021年初頭：テレワークのテストを実施する予定だったが、新型コロナウイルスの感染症拡大が想定よりも急速に進んだため、2021年4月に全社的に導入

### 人の流れ

きっかけ

以前より実施

オリバラ

コロナ禍

- テレワーク・・・・・・・・・・ 実施率約7割
- 有給休暇の計画的な取得の促進・実施・・毎年5日取得を義務化しているが、大会中に取得するよう奨励
- 会議等のオンライン化・・・・・・・・・・社内外ともにオンライン化

### 物の流れ

きっかけ

以前より実施

オリバラ

コロナ禍

### 取引先との配送に関する調整

- ・東京2020大会期間中（2021年7～9月）は、郵便物を極力減らすため、書類の電子化を実施

### 取組ポイント

- 事前にテスト運用を計画
- 常駐先で先行してテレワークをした社員からの情報等を参考にすることで、スムーズに取組を実施
- 社内は全面的にWEB会議化

### 取組ポイント

- 顧客へは事前にメールで告知、了解を得た

## 今後の取組

### 人の流れ

継続して取組を実施予定

### テレワーク

- ・プロジェクト（業務）によって効率化できるものとそうでないものがあるため、効率化できるものについては今後も継続
- ・外部常駐の社員は、常駐先の会社の方針次第となるが、現在（2021年12月現在）は、半分ほどの会社が出社する方針に移行しつつある

### 会議等のオンライン化

### 手続きの電子化

### 物の流れ

### 取引先との配送に関する調整

- ・現在（2021年12月）は、東京2020大会も終わりコロナ禍も落ち着いているため、紙書類での郵送に戻しているが、書類の電子化は、2022年1月の電子帳簿保存法の施行を待って、本格的に導入することを検討中

## 【東京2020大会を振り返って】

- ・通常、夏季にまとめて有給休暇を取得する人が多いため、東京2020大会期間中の有休取得率は例年と変わらなかった。
- ・お客様からもWEB会議での打合せを依頼されることが多かった。